

地域情報誌
2012年6月
(No3)

DEすかね

〈編集・発行〉生きがいのある須金をつくる会



(写真：歓送迎会終了後の記念写真)

新年度恒例の地区歓送迎会が行われました

新しく須金にいられた方が安心して暮らせるよう、皆様のご協力をお願いいたします。そして、須金を去られる方々。本当にお世話になりました。これからも須金の応援をお願いします！

〈歓送迎対象者〉

(退職) 須金支所長 山田達司さん / 須金駐在所長 山崎弘道さん / 須磨小学校 江見真樹先生

(転任) 須磨小学校 中村仁美先生 (下松市立末武中学校へ)

(着任) 須金支所長 隅浩二さん (周南市広報情報課から) / 須金駐在所長 平尾宏道さん (周南警察署中央交番から) / 須磨小学校 福田浩太郎先生 (菊川小学校から) / 須磨小学校 目賀彩実先生 (新任) / 須金郵便局 江山洋一さん (大津島郵便局から)

(転入された方) 舞田敏昭さん (城ヶ丘から上市に) / 石引西介さん (福島県須賀川市から上市に) / 須田浩史さん (千葉県松戸市から中原に) / 福本直樹さん (大阪府堺市から中原に) / 河村佳和さん (周陽町から下市に)

人物紹介・光森タツ子さん

Q1) 光森商店をはじめられたのはいつ頃ですか？

A1) 六十年前になります。主人（正さん）が独身の頃、徳山の商店で働いていて、いつか自分のお店を持ちたいという夢をここで叶えました。

Q2) 個人経営としては、地区内で唯一の生活店舗となりました。

A2) ここを頼りにされている方々のためにお店を続けています。これまで地元の皆さんにお世話になったお返しのお気持ちもあります。

Q3) ご趣味は？

A3) 以前は、社交ダンスもやっていましたが、今は歌（演歌）です。周南市北部で活動するボランティアグループ、ひょうたん一座にも入っています。

Q4) とても明るい方ですが、もともとのご性格ですか？

A4) 商売を始めて、お客さんと接するうちにこんな性格になりました。（笑）

Q5) 須金について一言お願いします。

A5) 須金はとても住みやすいところだと思います。歳を取って、なおのことそう思うようになりました。

（インタビュー：須金公民館 周山健太郎）

人物紹介



写真上：光森タツ子さん
写真下：ご主人の正さんと

★福祉コーナー★ 《 梅雨入り前に準備しましょう 》

◎非常持ち出し品の確認をしましょう

いざという時にすぐに持ち出せるようリュックサックに入れるなど、普段から準備しておきましょう

（非常持ち出し品の例）

- ・救急薬品・常備薬・懐中電灯・ろうそく・マッチ・ライター・ラジオ・乾電池
- ・非常食・水・ナイフ・缶きり・現金・貴重品・衣類・タオル

◎がけに近い所：がけ崩れに注意しましょう

時間雨量が20ミリ以上の強い雨になると、がけ崩れの危険が高まります。

前兆は、

- ・斜面の途中から水が吹き出す・小石がぱらぱらと落ちる
- ・地鳴りや山鳴りがする などです。危険を感じたら速やかな避難をしましょう

（文/須金地区民生児童委員協議会 広実文博）

「今、須金がおもしろい」

「一怒一老」「一笑一若」。読んで字のごとし、ひとつ怒ればひとつ老けるし、ひとつ笑えばひとつ若々しくなるという意味である。

若者が須金に魅力を感じ、定住する人たちがいる事は、これだけ喜ばしい事はない。元気がわいてくる。ありがたい。老人は若者を信じて応援する、そして若者は老人を大切にしてくれる、そんな関係でありたいものです。

老人クラブもフレッシュ須金老人クラブと改名します。老人が明朗に生きる為には「エンジョイ」する姿勢が強いほうがいい。おもしろいから参加する、そんな活動を企画します。6月15日(金)のフレッシュ須金老人クラブ大会(午前10:00～ 講演:劇団「わ」坂本良夫氏)には、ぜひ参加して下さい。

フレッシュ須金老人クラブ 会長 福田護

農ganic Festa 2012 de須金

5月3日、ゴールデンウィークの最中にふれあいプラザにて盛大に行いました。企画運営は須金の若者によって、農業と自然体験と人を結ぶ架け橋になればと実施しました。

当日は豚の丸焼き、しし肉カレー、よもぎパン、梨のパウンドケーキなど大変好評でした。体験コーナーでは薪割り、苔玉づくり、革細工、ツリークライミングには多くの人が体験されていました。

この経験を生かして、またさらなる須金発展の企画を考えていこうと思います。

(文/福田陽一)



(賑わうメイン会場)



(好評だった豚の丸焼き)



(石引さんのドラム缶ピザ)



(ひまわり会の出店ブース)

★イベント情報★

『ほたるのすがね～ホタル観賞の自然体験プログラム～』

須金の美しいホタルを川の上からボートに乗って鑑賞してみませんか。

日時: 6月22日、23日 20時から22時 集合場所: ふれあいプラザ須金
体験料金: 一般2000円 小学生以下1000円

●ほたるのすがね開催の試乗会も行います。●

対象は須金の方限定で6月19日 19時から

体験料金は上記金額の半額となります。

詳細、申し込みは ふれあいプラザ須金 (86-2000) まで



須金地区主な行事予定（6～7月）

6月

- 6月3日（日）・小学校プール清掃
・それ一ねの日（※）
- *今月は第1日曜日に開催しますのでご注意ください
- 6月5日（火）・やまびこ号巡回日（須磨小）
- 6月15日（金）・フレッシュ須金
老人クラブ大会
- 6月18日（月）・コミュニティ理事会
- 6月19日（火）・ほたるのすがね試乗会
- 6月20日（水）・やまびこ号巡回日（須磨小）
- 6月22日（金）、23日（土）
・ほたるのすがね
- 6月24日（日）・北部地区体育振興会
球技大会（沼城小体育館）

7月

- 7月8日（日）・錦川河川流域一斉清掃
- 7月23日（月）・コミュニティ理事会
- 7月29日（日）・山口県知事選挙

「DEすがね掲示板」

☆大津島のコミュニティが脱穀機を探しています。不要なものがあればお譲り下さい。

☆秋月丸の紙芝居を新たに作ります。
読み聞かせの語り手を募集中。

お問い合わせは須金公民館 周山（すやま）まで
TEL 0834-86-2201／FAX 0834-86-2145

須金せせらぎ短歌会～今月の一首～

桜咲く吾が山里に福島より
来たりし家族と縁(えにし)生れぬ
山縣佳代子（下市）

※DE すがね無料メール配信

メールでもこの情報紙は読めます！申し込み方法はdesugane@gmail.comへ配信希望と書いたメールをするだけ。励ましや感想もこのメールアドレスで受け付けています。
須金で育て、いま全国でがんばっている皆さんの元へ届けましょう！



特別連載 須金歴史探訪

秋月丸の謎 その三

文 高橋 勝己

さて、この地に逃れてきた秋月丸はどのような人生を送ったのでしょうか。長谷の山あいには居を構えた秋月丸は文人であり、詩をよく詠んでいたといわれ、いかにも公達の雰囲気を持っていたようです。村人たちは彼のことを「御所様、御所様」と呼んでいたことから彼が住んでいた地は御所ヶ谷といわれるようになりました。後年、秋月丸は氷見神社にこもり、大般若経を書写してこれを寄付し、大向の二俣神社へ向かう途中奥畑で急死しました（1218年）。彼は須磨の地で妙音尼という名の妻をめぐっていただけでなく、彼の死後、奥畑に尋ねてきてここに住み、小庵（後の桂雲寺）を建て、写経した石塔をたてて故人の霊を祀ったそうです。また娘の女妙音尼は母の死後、奥畑、宮の原、楽々谷の三カ所に経塚をたてて祀ったといわれています。今は崩壊してしまいましたが、秋月丸の墓も奥畑に五輪塔として残っていました。（奥畑由来記による）



写真：奥畑の五輪塔。
周囲には崩れた五輪塔が散らばっている。

編集後記

暖かい季節になり、これから様々な地区行事が行われます。皆様ご参加いただき、須金を盛り上げましょう！また、DE すがねへのご意見やご感想、情報提供もよろしくお願ひします！！（周山健太郎）